”農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

＜ 第 38 号 ＞
2010. 12. 1発行
島根県農地･水･環境保全協議会

勝山農政局長を迎え
「中国四国農政局長最優秀賞表彰式」を開催
～阿井地区資源保全協議会～

11 月 16 日（火）に奥出雲町の阿井コミュニティセンターで中国四国農政局長を迎え、「平成 22 年度農地・水・環境保全向上対策　中国四国農政局長最優秀賞表彰式」が開催されました。表彰式には、阿井地区資源保全協議会の影山会長、奥出雲町長をはじめ活動組織及び関係者の皆さん約６０名が出席されました。

最初に勝山局長から「阿井地区資源保全協議会は旧小学校単位という広範囲でありながらまとまりが良く、その中心を 2 名のコーディネーターが担っている。また、大規模な取組みエリアの特徴を活かした自主施工や営農活動が展開されている。」と講評がありました。

次に影山会長から「この受賞を励みに活力ある地域づくりを進めたい」とお礼の言葉を述べられました。

表彰式後、農政局長から「食料・農業・農村をめぐる情勢」についての講演があり、世界の食料事情や日本の農業情勢についてユーモアを交えた分かりやすい説明に出席者の皆さんは熱心に聞き入っておられました。

意見交換会の場では、地域の女性の方から「本対策が始まってから公民館に来館者が増え、地域が活性化した。このようなコミュニケーションは地域の資源（たから）であり大切にしたい。」と感想が述べられました。

島根県では、昨年度の市山環境保全会（江津市）に続き、2 年連続の最優秀賞受賞となりました。このことは、県内の全 486 活動組織の「地域の資源（たから）を守る活動」が高く評価されていると言えるのではないでしょうか。

皆さん３年連続の受賞を目指して！？頑張りましょう。

実施状況の確認・相談会を終えて
～事前計画に基づき早めの活動を～

本年度も協議会では、６月の奥出雲町を皮切りに１０月初旬まで約２４０活動組織の実施状況の確認・相談会を実施しました。

今回は、平成２１年度の実施状況報告に基づいて、主に繰越や日当の使途についてお話を伺いました。

また、これに併せて、来年度（第１期対策の最終年度）に向けて交付金をより効果的に使って頂けるよう計画的な活動のお願いと、県下の活動組織の事例写真を使って交付金で出来る取組みなどを紹介させて頂きました。

繰越した交付金については、ほとんどの活動組織が、来年度末までに「農地・水向上活動」などに充てる計画であることを確認しました。

活動組織の方からは次のような印象深いお話がありました。

・自治会、農業者で遊休農地を復元し、廃校の校舎を利用した加工場と連携した作付けを行っている。
・用水堰堤（コンクリート）を自主施工した。
・この取組みでため池の水を抜き点検を行ったことで、ため池の構造が初めて分かった。
・線路沿いの水路法面 600mに芝桜を植栽し、ＪＲ利用者にも地域のＰＲをしていきたい。
・水路、農道の改修をしたい箇所はたくさんあるが、大がかりな工事になるため、緊急性や経費を検討しながら取組んでいる。
・次第に皆さんからの要望が多くなったことで、本対策が浸透し、定着していることを感じている。

このように活動組織の皆さんの積極的な姿勢が感じられ、次期対策を期待する声が高まっているようでした。

今後、活動を実践していくうえで、次のことに気をつけて取り組んでください。

- 部分的に工事を委託する場合は、なるべく事前に見積をとり、工事が終わったら詳しい内訳が分かる請求書、領収書をもらってください。
- 本年度に実施した活動に係る日当、資材費又は委託料等は、当該年度の会計に必ず計上し、支払いを済ませてください。

このほか交付金の使途、活動等について不明な点は県・協議会へお問い合わせください。

活動のポイント　Vol.6

「自然や生き物の観察会」や「水質調査」の結果を地域の皆さんにチラシや報告会で伝えてはどうでしょうか。

★地域の皆さんに自分たちの活動を知ってもらい、活動に参加、協力を呼びかける機会作り。
★観察会、調査結果をヒントに、ふるさとの資源（たから）に目を向けて、農村環境を守る活動につなげていくきっかけ作り。

営農活動に取組む皆さんへ

『環境農業』シンポジウム

生物多様性と『環境農業』

～多様な生きものを育み、豊かな文化、地域、

環境づくりを目指す農業を見つめる～

豊かで美しい自然に囲まれた島根県。

食の安全・安心や環境問題への意識が高まる中、地域の山々、川や湖の水質環境を守りながら農業に取り組むことを目指し『環境農業』の推進を図っています。

このシンポジウムでは、多様な生きものを育む農業の環境保全機能をテーマに、作る人と食べる人が一緒になって「農業を通じて環境を守る」取組みについて考えます。

農地・水・環境保全向上対策の営農活動にお取り組みいただいております皆様のご参加をお待ちしております。

「アグリミーティング2011in島根」と同日開催です!!

日時	**平成２３年１月２２日（土）１３：００～１６：１０**
場所	**くにびきメッセ　１Ｆ多目的ホール（松江市学園南１丁目２番１号）**
主催	**島根県、島根県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会島根県本部**

＜内容＞

テーマ：生物多様性と『環境農業』

～多様な生きものを育み、豊かな文化、地域、環境づくりを目指す農業を見つめる～

イントロダクション　映画上映　12:30～12:50　（20分）　『田んぼ』short ver.

①しまね『環境農業』大賞表彰式

②活動発表（受賞者）

③基調講演

講演①：「農と生物多様性」

講師：NPO 法人田んぼ　理事長　岩渕成紀　氏

講演②：「朱鷺と暮らす郷　生物多様性保全と佐渡米のブランド化」

講師：新潟県佐渡市農林水産課生物多様性推進室　室長　渡辺竜五 氏

④意見交換と質疑応答

アドバイザー：岩渕成紀氏、渡辺竜五氏

コーディネーター：福原圧史氏（NPO 法人ゆうきびと会長）

申込み・問い合わせ先　〒690-8501 松江市殿町１
島根県農林水産部農畜産振興課有機農業グループ
TEL：0852-22-6477　FAX：0852-22-6036

出席された方は、シンポジウムの内容を活動組織の皆さんにお話し頂き、「農業を通じて環境を守る」取組みの参考としてください。

活動組織の皆さん、第２回交付申請はお早めに！

１２月初めに、「共同活動支援交付金（第２回目）」、「先進的営農支援交付金」の交付申請書が届きます。代表印を押印のうえ、すみやかに市町村へ提出して頂きますようお願いします。

★今月の予定★

１（水）	環境保全型農業直接支援対策に係る市町村担当者会議（浜田市）

ちょっと一息
おたよりコーナー

倒木を活用した法面補修
大東春石環境保全向上の会（雲南市）

春石地区は、雲南市大東町と安来市広瀬町との境に位置する中山間の地域です。

地域では積雪による水路周辺の倒木処理に苦慮していましたが、活動の中で、倒木を活用した農用地法面の補修を行いました。

地元の林業、建設関係に従事している方達の技術力で見事な補修が出来ました。

倒木を補修資材に活用することは、地域資源の有効な活用にもつながりますね。皆さんの発想の転換、豊かさに感心しました。

【投稿規定】

郵便番号、住所、氏名、電話番号、組織の方ならば活動組織名を明記。
郵便、ファックス、メール、電話での投稿。次号への掲載は、前月２０日ころまでに必着。
宛先は、〒690-0876 松江市黒田町 432-1　水土里ネット島根「おたよりコーナー」係。
FAX 番号（0852）24-0848、電子メール shigenhozen@shimanedoren.or.jp

～担当者の声～

夏の猛暑のせいか、全国的に野菜の値段が高騰しているようです。世間では、冬に楽しみな鍋の具材のメンバーが変わってくるかもしれません。我が家の猫の額のような畑でもこんな時にはうれしいものです。丹誠込めた農作物がひときわありがたく感じられ、寒い懐を心から暖めてくれるような気がします。（協議会　Ｓ）

～農地・水・環境保全向上対策に関することは！～

◆島根県農地・水・環境保全協議会まで
〔事務局〕水土里ネット島根　Tel 0852-32-4144　Fax 0852-24-0848
http://www.nouchimizu-shimane.jp

◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ（共同活動）　Tel 0852-22-6262
〃　農畜産振興課有機農業グループ（営農活動）　Tel 0852-22-6477
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は県内各農林振興センター、最寄りの各市町村担当課までお問合わせください。